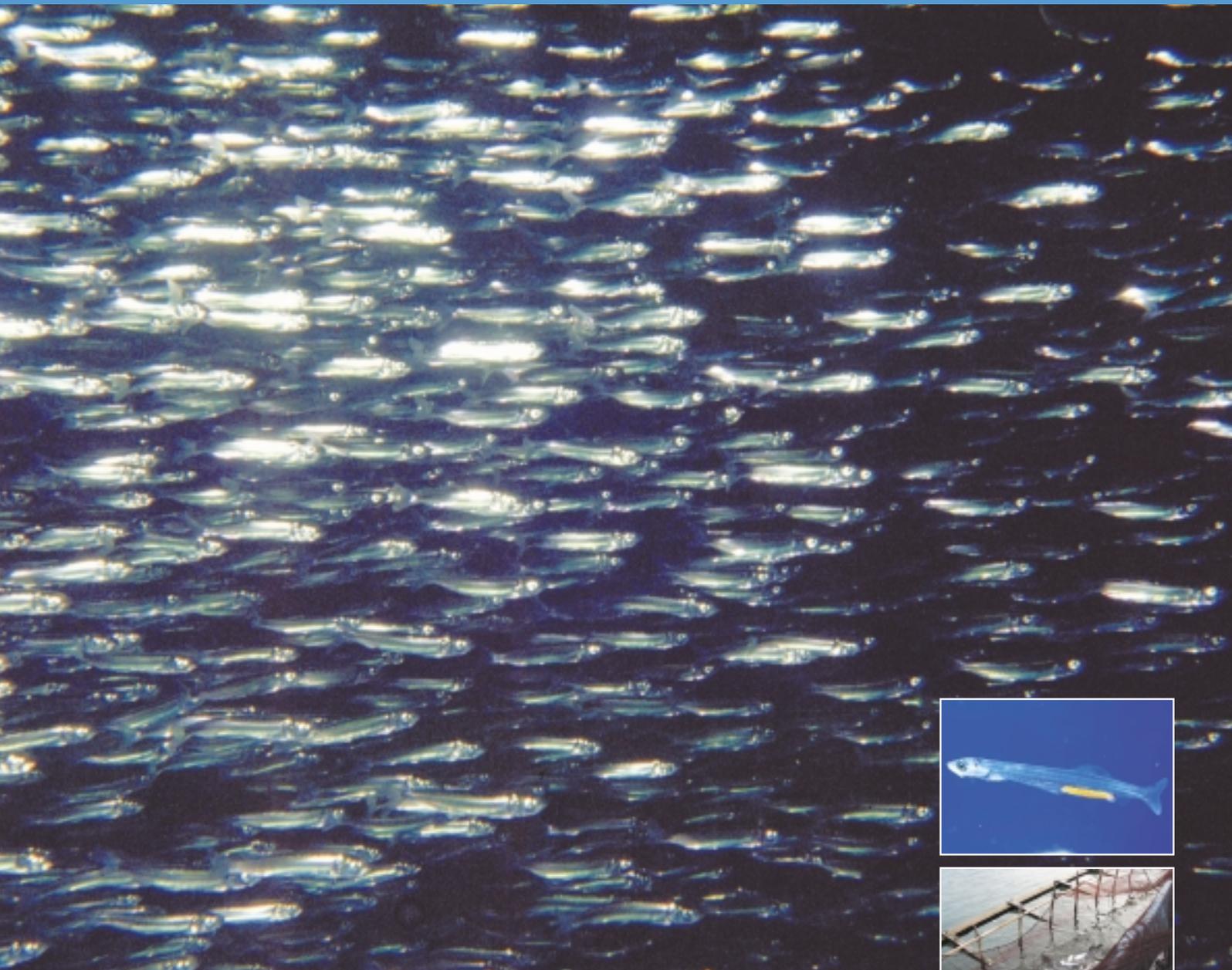


# おさかな瓦版

No. 9  
2006.2

シリーズ

## 北の海の さかなたち

第1回

# [ ニシン ]

シリーズ第1回

「書籍で知る日本の水産」  
イメージキャラクターの  
愛称決定!!



おさかな博士の  
「おさかなクイズ」

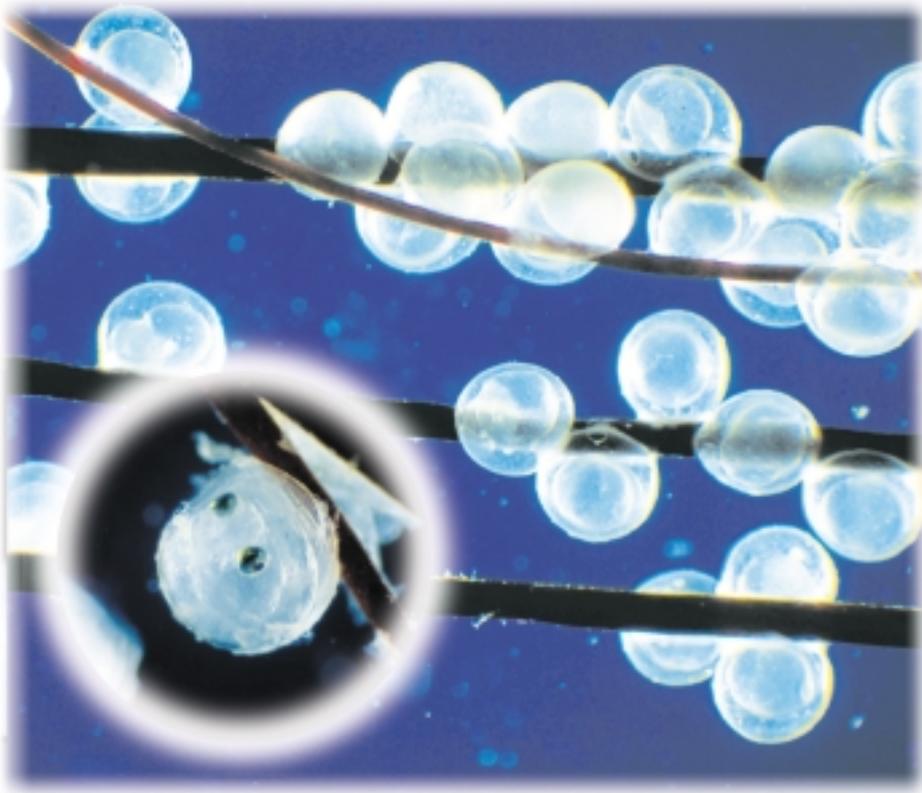


シリーズ: 北の海のさかなたち

# 第1回 ニシン



ニシンの仔魚(全長20mm)



で遺伝的多様性を保つことが群来の意義と思われま

す。この春から、北海道区水産研究所と厚岸栽培漁業センターは一体となってニシンの新たな研究をスタートさせます。最初はつくり育てる漁業の基盤となる研究からのスタートですが、将来的には産卵場や稚魚の生育場となる沿岸生態系の保全、資源の適正な利用と管理、新たな流通など広い視野に立った総合的な研究へと発展させる必要があります。

最後に、北海道にはニシン漬、ニシンの切り込み、ニシンの飯寿司などニシンを使った美味しい郷土料理があります。北海道にお越しの際には是非お試しください。

「<sup>ニシン</sup>鯨来たかと<sup>カモメ</sup>鵜に問えば……」のソーラン節や石狩挽歌など数多くの歌に登場し、それらを聴くと漁獲最盛期の賑わいに思いが至るニシンは、北海道ではノスタルジックヒーローとよべる魚です。また、正月のおせち料理に欠かせないカズノコ、昆布巻の芯の身欠きニシンなどをみれば古くからニシンを食べる習慣が日本全土に浸透していたことがうかがわれます。

ニシンは北半球に生息し、太平洋ニシンと大西洋ニシンの2種類がいます。日本に生息しているのは太平洋ニシンで、生活スタイルの違ういくつかのグループが存在します。かつて100万トンを超える漁獲を誇った北海道サハリン系ニシンは、沿岸で産卵して広い範囲を回遊する

長命で大型になるグループで、大規模な資源変動を繰り返してきています。一方、河口近くや汽水湖で産卵し、早熟で小振りな地域性ニシンが現在漁獲されている主体です。

ニシンの親は雪解けの4月頃に沿岸や汽水湖の産卵場に集まり群れをなして産卵します。産卵が始まると精子によって海水は真白く濁り、波によって泡立ちます。この様子は群来と呼ばれます。ニシンの卵は強い粘着性をもち、海藻に付着します。一方、精子は他の魚と違って、卵に近付くとはじめて動きだします。水槽内で産卵行動を観察したところ、ペアでの産卵は見られず、放卵と放精は別々に起こっていました。こうして一腹の卵が多くのオスの精子により受精すること



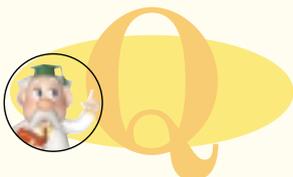
ニシン定置網での漁獲



炉端のニシン炭火焼

## おさかなクイズ? 素朴な疑問シリーズ 5

答えは裏表紙にあるよ!



1 海の色はなぜ青いの?



2 カレイとヒラメの見分け方は?

## シリーズ 第1回

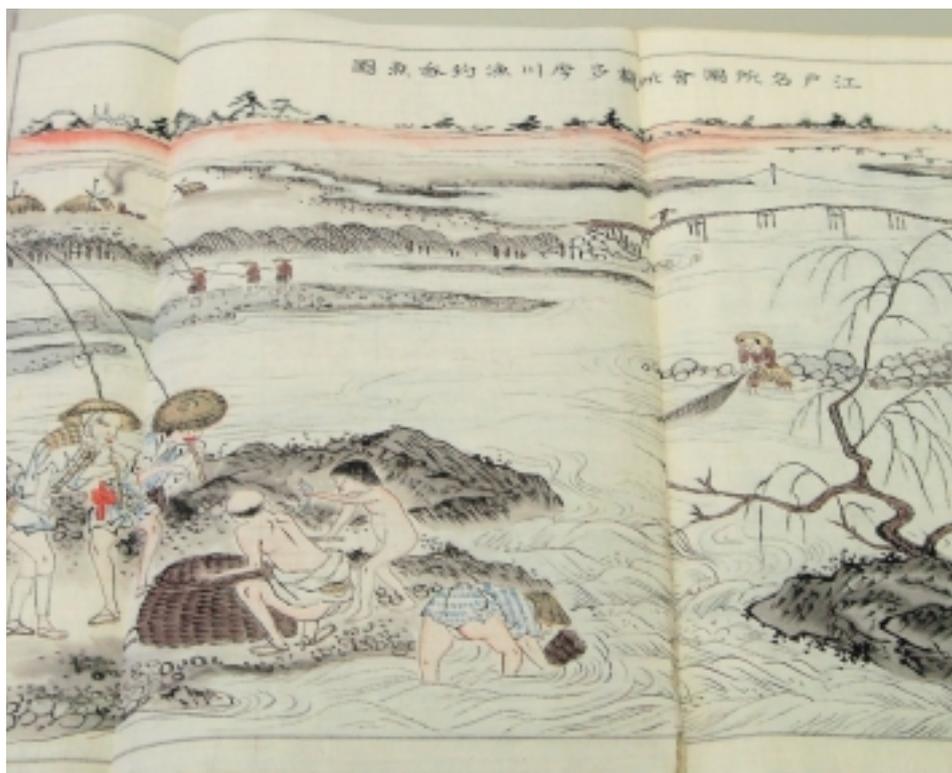
## 「書籍で知る日本の水産」

祭魚洞文庫 日本お伽鯨ホテル  
(たから山人)明治43年

研究所の図書館というと難しい本がたくさん並んでいてその上難しい顔したオジサンが留守番していて敷居が高い！なんて思っている人はいませんか？もちろん、難しい本もたくさんありますが、難しいだけではなく、面白いんです。

水産総合研究センターで一番大きな中央水産研究所図書資料館には、その名の通り水産に関する本を中心にたくさん本や資料が所蔵されています。国内外で発行される図書資料や外国雑誌のほかに、『旧水産庁水産資料館資料』や『祭魚洞文庫』など漁業史を知る上でたいへん貴重な資料もあります。

『祭魚洞文庫』？変な名前ですね。この文庫は、ある一人の人が個人的に集めた、魚や漁業にまつわる本のコレクションです。江戸時代の釣りの専門書や魚の図鑑、明治時代の教科書などもあります。この人は、名前を澁澤敬三といいます。おじいさんの澁澤栄一氏は日本に資本主義を根付かせた人でした。その跡を継ぐために、敬三氏は子供のころから好きだった動物学の研究をあきらめて経済界に入りました。病気療養のために訪れていた伊豆で、敬三氏は漁業の古文書を発見します。これがきっかけとなり、経済界の仕事のかたわら漁業史の研究に取り組みました。彼は良い資料を集め、それを研究者が利用できるようにすることに心を砕きました。経済界に生きる敬三氏にとって、研究活動は自分に振り返りほっとできる場でもあったようです。『祭魚洞』は敬三氏の雅号ですが、『祭魚』とは魚を取って



祭魚洞文庫 香魚考(山下重民)明治20年 江戸名所圖會所載多摩川漁釣香魚圖

も食わずに並べて見て楽しんでいる獺の故事をいうそうです。

また、『旧水産庁水産資料館資料』は、戦後の漁業制度の大改革のために水産庁が集めた資料です。公文書、日本各地の古文書(主に筆写本)などがあります。

次号からは『祭魚洞文庫』などから一冊ずつ取り上げて紹介していきます。皆さんの興味のアンテナに届きますように！

なお、『旧水産庁水産資料館資料』や『祭魚洞文庫』は貴重資料のため、調査研究、学習又は教育に利用する場合に限り閲覧を許可しています。できるだけ良好

な状態で、資料を後世に伝えていくための配慮ですので、ご了承ください。



中央水産研究所図書資料館閲覧室(横浜市金沢区福浦)



# 水産総合研究センター イメージキャラクターの 愛称が決まりました!!



A

命名  
ふっくん



B

命名  
ふーちゃん



C

命名  
あんじい

水産総合研究センターイメージキャラクター3種類の愛称を広く公募いたしましたところ、可愛い愛称からユニークな愛称など、多数(714通)のご提案を頂き、誠にありがとうございました。

それぞれのキャラクターにピッタリの愛称や、由来までご説明頂いたものなど、当センターのイメージアップに対するご提案まで頂き、当センター役職員一同感謝いたしております。

ご応募頂いた中から選ばせて頂きました結果、以下の愛称に決まりました。

なお、採用された愛称の応募者が多数いらっしゃいましたので、厳正なる抽選の結果、以下の方を当選者に決定し、賞品としてフグ鍋セットまたはアンコウ鍋セットを発送させて頂きました。

## Congratulations!!

- A. ふっくん 和田 紀元様(広島県)
- B. ふーちゃん 石田 愛様(愛知県)
- C. あんじい 宮沢ひびき様(神奈川県)

## おさかなクイズ 答え



### 海の色はなぜ青いの？

海水を手ですくっても透明で、青くはありません。ところが船や海岸などから深い海を見ると青く見えますね。海が青く見える一番大きな要因は、水による光の吸収です。光の三原色は赤・緑・青ですが、このうち赤は水の中を通る時に水の分子の振動によって吸収されてしまい、3mで44%も減少してしまうそうです。そして、残りの青と緑がより深いところまで届き、海水の中のゴミやプランクトンに反射して青く見えるというわけです。また、青空を反射するのの一因だそうです。ちなみに太平洋を流れる「黒潮」は大変透明度が高く、ゴミやプランクトンが少なく光があまり反射しないため、青黒く見えます。

### カレイとヒラメの見分け方は？

もっとも一般的な見分け方は、腹を手前にして置いたときに頭が右に来るのがカレイ、左になるのがヒラメというものです。「左ヒラメに右カレイ」という言葉をご存じの方も多いでしょう。ところが、広い海の中には左カレイや右ヒラメもいるのです。例えばヌマガレイという魚はカレイ目カレイ科に属するれっきとしたカレイですが、腹を手前にすると頭は左にあります。また、アカシタヒラメはヒラメという名前が付いていて左に頭がありますが、カレイ目ウシノシタ科に属するカレイの仲間です。逆にアラメガレイやテンジクガレイというヒラメ科の魚もいるので、話はややこしくなりますね。

では、身体が大きいのがヒラメでしょうか？いえいえ、ヒラメは最大1mほどですが、カレイの仲間には2m

にもなるオヒョウと言う魚がいます。それじゃあ、口が大きいのがヒラメ？確かに魚食性が強いヒラメはゴカイ類や貝類を主食とする一般的なカレイよりも口が大きく歯も鋭いのですが、アカガレイやアブラガレイなどはヒラメに匹敵するほど大きい口を持っています。

要するに決定的な見分け方というのは無いのですが、腹を手前にして頭が左にあり、身体が大きく、口が大きいという3要件を満たしていればヒラメと言って差し支えないでしょう。江戸時代にはカレイとヒラメの区別は無かったそうなので、ひょっとしたら区別しようというのが間違いなのかも知れませんね。



ムシガレイ



ヒラメ

表紙写真：放流直前のニシン稚魚(全長70mm)の群泳